

芦屋の人



芦屋の空気

朝比奈 千足

神戸に住んでいた子どもの頃から「芦屋」はほかの町にはない、たくさん不思議があった。そのことでもっとも気になった町だったし、私にとって「芦屋」は何か特別な隣町であった。

たまに両親と車で大阪から神戸に帰ることがあった時も、乗っていた車の走りが急に静かになると、両親はああ芦屋だといった。どうしてそんなことが判るのだらうかと思った。

阪急電車に乗ってピアノのレッスンに通っていた頃、電車の中で隣に座り合わせた女の子の髪が妙に気になった。窓からの風にふかれてその髪の色もいえない匂いが私の鼻をくすぐった。芦屋川の駅に着くとその子はその甘い髪の匂いを残して颯爽と身を翻すように降りていった。そのとき芦屋の女の子は何となくほかの町の子と違うように感じたのはどうしてだろうか。

電車の窓から見える芦屋川から海のほうを見ると、教会の尖塔があったり、海には大きな船が停泊していたり、なんだか外国の小都市にきたような錯覚に陥った。

そういえば芦屋に住んでいる大人たちは、子どもに何となくみんなすっきりと身なりがいいと感じた。言葉使いも東京弁の人が多いような気がした。どうもほかの町と違う。芦屋の道路は舗装が行き届いていて、山手のお嬢さんはちょっと上等なシャンプーを使っていたことなどはまもなく納得できたが、結婚して芦屋に住むようになってもまだ解けない不思議がある。それはほかの町に住む人の何気なく穏やかな生活と、手の届くところに必要なものがあるという至便さから醸し出される空気なんだろうか。いずれにせよこの芦屋の空気が私をなごませ、しっかりと芦屋の住人にさせてくれたのだらう。

朝比奈千足あさひなちたる氏 県立神戸高校を経て、慶応義塾大学法学部卒。大学卒業後西ドイツブレメン市立音楽院を経て国立ベルリン芸術大学を昭和四十六年(一九七一年)に卒業。クラリネット奏者として活躍を開始する。ペルリン国立歌劇場の指揮者助手として勤めた後、指揮活動をはじめた。

昭和五十四年(一九七九年)、神戸フィルハーモニックを創設、音楽監督兼常任指揮者に就任、今日にいたる。他に、京都市立芸術大学非常勤講師。本年四月よりラジョ大阪の番組を担当、パーソナリティーとしても活躍。芦屋市在住。

社会教育関係団体登録の申請受付

問い合わせ 生涯学習課 ☎38-2091

下記の登録の要件に該当し、新規登録を希望する団体やグループは、社会教育関係団体登録の申請手続きをしてください。登録の有効期間は、承認日から平成18年8月31日までです。

今回は新規登録の申請受付のため、すでに登録し有効期間中の団体は申請の必要はありません。

【登録要件】

社会教育法に基づく組織的な教育活動を自ら行い、その団体の学習活動・内容が明確であり、公の支配に属さない団体であること。

団体運営については、団体に主体性があり、営利事業や政治・宗教活動を目的としない任意団体であること。特に芸能・趣味関係団体については、活動が流派の普及活動や指導者の営利を目的としたり、またはそれに類した行為を行わない団体であること。

過去1年以上の実績があり、将来も継続して活動できる団体であること。

規約および経理機構があり、団体の本拠としての事務所を有していること。

健全な自己財源を持ち、会員の会費等の負担額が一般的に見て高額すぎないこと。

団体の活動への参加窓口を一般市民に広げていること。団体内だけの活動のみでなく、地域全体への普及啓発活動があること。

組織の構成メンバーが主として芦屋市民であること。また、市内を活動の拠点にしていること。

【申請受付】12月10日～27日、平日の午前9時～正午・午後0時45分～5時15分に、上記へ。

美術博物館 12月の催し〔全館無料〕

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432(伊勢町12-25)

会期 12月4日～12日、午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)・月曜休館

第55回 童美展

昭和23年(1948年)、市内在住の美術家達が地域のために結集し、子どもたちの作品を展示する「童美展」が始まりました。

今年で第55回を迎えます。「個々の創意を重視し、自由でたくましい魂の発展に寄与する」との基本理念のもと、童美展に集まってくる作品群は、美術博物館の壁面を埋め尽くし、ホールを熱気で包みます。

会場全体に広がる子どもたちの「こだわり」によって、子どもたちの強烈な個性を発散させるこの「童美展」に、ぜひご来館ください。

常設展 「美術博物館コレクション」

本館コレクションの中から人物や静物、風景画など異色作品12点を展示します。

【展示作品】

東貞美《おもいあたま》/飯島一次《猛獣》/伊藤継郎《インド風景》/関根美夫《作品#29》/原田五郎《ストーブ(星との対話)》/松葉清吾《3人の子供》/村井正誠《自画像》/瑛九《真昼の夢》/松井正《占師の庭》/山崎隆夫《きつねのよめいり》/山田皓齊《西ノ京薬師寺幻想》/吉原治良《小さな噴水》

これなんやろ?

- ちょっと昔の生活道具 -

本展では、当館に寄贈された生活道具を中心に、ちょっと昔までは生活の場面に使われていたが今では目にすることがなくなった道具や、全く姿を変えてしまった道具等を展示しています。私たちのくらしの変貌ぶりを再認識し、ちょっと昔の道具たちに注がれた、くらしの知恵と工夫を知る機会となれば幸いです。

右・焼きのり用の箱
下・夏用のおひつ
右下・回転ごたつ



【展示資料】

食卓写真パネル、八工取り機、自動八工取り機、火のし、炭火アイロン、羽釜、飯櫃、氷冷蔵庫、木製おまる、炬燵、湯たんぼ、懐炉、長火鉢、扇風機、電気ストーブ、トースター、蚊帳、氷削り、氷冷蔵庫、オルガン、ゆりかご、焼きのり用の箱など 約80点

冬期休館・12月13日～平成17年2月25日〔1月15日・16日・17日は開館〕

平成17年 芦屋市成人式

日時 平成17年1月10日(月・祝日)午後1時～2時(予定)開場0時30分

会場 ルナ・ホール 対象者 昭和59年4月2日から昭和60年4月1日の間に生まれたかた(12月1日現在で、住民基本台帳および外国人登録簿に記載・登録されているかたに年賀状で案内します)

「20歳の誓い」発言者募集

成人式当日に「新成人の抱負・決意等」を発言していただける男女各2名を募集します。ご希望のかたは、下記へご連絡ください。

問い合わせ スポーツ・青少年課 ☎22-0358

夜間(17:00～9:00)水道修理工事当番表【12月】

水道の修理は「芦屋市指定水道工事事業者」へ

平日の昼間は水道部へお尋ねください。

土曜日・日曜日・祝日は市役所(☎31-2121)へお尋ねください。

夜間の修理は右の業者が待機しています。

問い合わせ 水道部工務課維持担当 ☎38-2083

店名	TEL	当番日
前忠工業(株)	31-8548	1、7、13、26
(資)神明商会	22-3565	2、8、14、20
中央水道工務所	22-3552	3、9、15、21、27
原田商会	22-0706	4、10、16、22、28
越智商会	22-3708	5、11、17、23、29
西岡設備工業所	22-6900	6、19、25、31
(有)大阪商会	32-6302	12、18、24、30

ミュージアム・コンサート()

魂に響く『詩と絵と音楽と』

～谷川俊太郎の詩の世界と音楽のコラボレーション～

日時 12月20日(月)午後6時30分～(6時開場)

会場 美術博物館<全席自由>

出演 道上洋三(朗読)/谷川賢作(ピアノ)

入場料 2,000円(前売・当日とも)*前売

完売の場合、当日券は販売しません。

発売 美術博物館、ボランティアグループ芦屋おたすけたい・加藤(☎31-7405)

問い合わせ 美術博物館 ☎38-5432

芦屋川カレッジ公開講座

陰陽師 安倍晴明と芦屋道満

安倍晴明の最大のライバル・芦屋道満とはどのような人物だったのか?

陰陽師が活躍した時代背景にも迫ります。

日時 12月8日(水)午後1時15分～2時45分

会場 市民センター401室 講師 国際日本文化研究センター教授・小松和彦氏

受講料 300円 定員 先着100人 申し込み 電話

かファクスで下記へ

問い合わせ 公民館 ☎35-0700/FAX22-6924